

「乾燥させず」に拡大防止

前橋

県老人福祉施設協議会の看護研究部会（大山敦子部会長）は、前橋市の県市町村会館で、福祉施設内での感染症対策を呼び掛けるための講演会を開いた。

済生会前橋病院（同市）の感染管理認定看護師の細淵節子さんが講師を務め、県内の老人福祉施設やデイサービスで働く看護職員約70人が、実践的な感染症の拡大防止策を学んだ。

細淵さんはノロウイルスは原因となるウイルスが乾燥すると飛散し、被害が拡大すると説明＝写真。症状が出て汚物が発生した場合は「素早く

適切に処理し、ウイルスを乾燥させないことが大切」と呼び掛けた。

講演は2017年にインフルエンザが流行したことを振り返るとともに、夏場に発生しやすいノロウイルスへの注意を喚起するため開かれた。

